|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 施設長 | サビ管 | 世話人 | 世話人 | 世話人 | 世話人 | 世話人 |
| 　　 |  |  |  |  |  |  |

議事録（スタッフ会議）・第2回

2023年5月15日（月）

9：00～10：00

1，虐待防止研修委員会及び身体拘束適正化委員会に

　マニュアルを活用して研修を行った

①普段何気なく使っている言葉、会話

②風通しのよい職場作り

③ヒヤリハット報告書

気が付いた時に共有することで、虐待防止、早期発見。

④利用者からの苦情があれば、最初事業所内で対応する

⑤通報者を守る

通報者を追求しないような仕組みが作られている。通報が入れば、調査が県からはいる仕組みになっている。

虐待をしていない事実は、日々の記録から重要となってくる。

・丁寧に優しさをもって接することを心掛ける

・相手との信頼関係も重要となってくる。相手の受け止め方や捉え方

2，身体拘束適正化委員会

しんごうでは身体拘束が必要な人はあまりない。

・無記名でチェックリストの記入（昨年度も行った）

去年分も保管

3，介護ハラスメントについて

　・利用者から職員へのハラスメントもある

　　実際に、ハラスメントと感じれば職員間で共有する。

4，利用者について

①髙橋さん

・本人が傷つかないように、いつ、どのよう、どういう言葉で伝えていくか？本人が自覚するように。

〈職員からの意見〉

　・気楽に、さらっと伝えてみる。

　・自分の経験を交えて、本人に伝え、「自分だけではない」という安心感を与える。

　・本人の障がい特性や性格も踏まえる

　・シャワーでもよく洗体をすれば、清潔を保てる事を伝える。

　・清潔にする事の必要性を感じてもらうには？

　布団干しについては、自身が快適な睡眠を得られた事を実感したから続けていると思われる。

部屋の片づけも、職員が促して行ったが、今のところ必要性を感じていない様子。

　・職員からひとつひとつ、生活上の事（特に洗濯）は声掛けして、周囲がどう感じているかを伝え続けていく必要がある。

・本人の気持ちが上がるような声掛けをしていく。

連絡

5/21　社員総会　11：30～　バーベキュー　10：00～準備

5/23　儀間さん　中野相談員モニタリング

5/28　新郷自治会　ふれあい祭り　呼びかけどうする？